

# ホ・ア・シ・スだより 3月特別号

暖かくなったと思うとここ数日は少し冷えますね！三寒四温とは言えもう三月も半ば、コロナウイルスの暗いニュースの日々ですが真の暖かな春が待ち遠しいですね。15日の親子ピクニック、今のご時世を鑑みて中止にした方がよいのか迷ったのですが子供達やご家族の事を思い、検討した結果実行することにしました。ところで先般お願いしました評価表のご回答ありがとうございました。この評価のアンケートは毎年この時期に行われるもので私共は皆様から回収した結果を公表する義務があり公表してきました。全員のご意見は膨大な数になりますのでネット（リタリコ）や共生協働センターの事業報告書に記載しておりますので確認してください。ただ幾つかの疑問には真摯に向かい合ってこの紙面でお答えしようと思います。

- ① 障害のない子供と交流する機会があるか？・・・わからない・4名、いいえ・1名・・・NPO法人は幼・保育園を持たない施設なのでなかなか難しい部分がありますが今後の課題として積極的に検討していきます。ご意見やアイデアがありましたらお聞かせください。
- ② 活動のスペースの広さについて・・・どちらともいえない・1名、県の指定施設ですから法的基準は十分満たしています。また、職員の入れ替わりの頻度については特化型療育を行っている関係上専門性の指導についてこれない人は辞めませんが、支援の質を上げるためには仕方がないと受け入れ、療育に合った質の高い人材の募集を行っています。療育は幼児教育でもなく学校教育でもなく躰きの改善が目的であり義務ですからむづかしい分野と言えます。
- ③ 職員の専門性について・・・いいえ・1名、7名の職員全員きちんとした有資格者ですからご安心ください（行政に提出済み）。経験年数は様々です。その他、言語聴覚士（医学博士）は月1日、運動療育士は月7～8日、心理士（大学教授）は随時、4月からは親の会やペアレントトレーニングにも依頼。
- ④ 適切な支援計画案について疑問・・・1名、児童発達支援もデイもガイドラインに沿って計画案を作成していますし更に躰きの改善により効果を上げるために全国の施設経営者数十名が加盟している研究会に所属（東京）して、専門的に学んでいます。（鹿児島からは私共だけです）その学びを通して音楽特化型については3年間学びました。これらの事実については親の会やペアレントトレーニングで何度かお話してきたと思いますが今後は文書化して納得していただけるように進めていきたいと思います。
- ⑤ 個人情報の保護について・・・わからない・1名、利用契約の際お互いに約束しているとおりですが施設内では共有しています。

☆ 私共オアシスは困りごともありながらも繰り返しつつ子供たちの躰き改善に焦点を当て続け、改善の結果を出してきました。今後もこの姿勢は

☆ 持ち続けて今後も子供達が自立した社会人になるための療育を行っていきます。いつも皆様のご協力を感謝しています。 園長 伊藤 邦子